

授業計画（シラバス）

■科 目	歯科診療補助Ⅲ			■講師名	猪島恵美子
Ⅱ部2学年	前期	15コマ（1コマ90分授業）	総時間	30時間	講義2単位
■学修概要					
<p>歯科診療の補助を行える歯科衛生士になるために必要な基本知識をつけ、医療人としての心構えを理解し、臨床における補助実習を行うことで技術と態度を修得する。</p>					
■授業目的、到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士が行う歯科診療の補助の概念を説明できる ・ 各臨床科目（保存修復、歯内療法、歯周療法、口腔外科、歯科補綴）に沿った歯科診療の補助を実践できる ・ 対象者に合わせた口腔機能管理を模倣できる 					
■授業方法					
講義、実習					
■教科書（書籍名・著者・出版社）					
最新歯科衛生士教本／歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版					
臨床歯科シリーズ 医歯薬出版他					
■成績評価・講義上の注意					
授業態度、実習態度、出席状況、提出物、定期試験の総合評価					
■実務経験					
<p>一般歯科医院での歯科衛生士業務の実務経験があり、かつ歯科衛生士学校の専任教員として基礎実習の担当も行っている。全国歯科衛生士教育協議会では教育委員を務めており、日本歯科衛生教育学会、日本歯科衛生学会に所属している。</p>					
■授業計画（講義の流れ）					
1	保存修復の診療補助①（前準備、直接・間接修復、ホワイトニング）				
2	保存修復の診療補助②（コンポジットレジン、グラスアイオノマー修復）				
3	保存修復の診療補助③（Tooth wear）				
4	保存修復の診療補助④（修復物の研磨）				
5	歯内療法の診療補助①（歯内療法で使用する器材と主な術式）				
6	歯内療法の診療補助②（歯内療法での介助、材料の取り扱い）				
7	歯周療法の診療補助①（歯周治療で使用する器材と主な術式）				
8	歯周療法の診療補助②（歯周治療での介助、材料の取り扱い）				
9	口腔外科の診療補助①（インプラント治療における診療の介助と口腔管理）				
10	口腔外科の診療補助②（口腔外科における歯科衛生士の役割、全身麻酔）				
11	口腔外科の診療補助③（口腔外科で使用する器材と主な術式）				
12	口腔外科の診療補助④（口腔外科での介助、器材の取り扱い、個人防護具）				
13	歯科補綴の診療補助①（歯科補綴での歯科衛生士の役割、補綴物の特徴、補綴で使用する材料）				
14	歯科補綴の診療補助②（補綴治療での介助、補綴で資料する器材）				
15	定期試験 解答解説				

授業計画（シラバス）